



夏によく耳にする「夏日(25℃以上)」「真夏日(30℃以上)」「猛暑日(35℃以上)」に加え、2026年からは『酷暑日(40℃以上)』が新たに使われるようになりました。室内でエアコンを使用していても熱中症になることがあります。無理をせず、経口補水液などを備えておくとう安心ですね。暑い日が続きますが、こまめな水分・塩分補給を心がけ、上手に夏を乗り切りましょう。

日光市民活動支援センターからの お知らせ

お盆期間中のご利用について

お盆期間中(8/13～16)も通常通り開館いたします。

臨時休館のお知らせ

10月10日(土)・11日(日)・12日(月)の3日間、隣接する施設の害虫駆除作業実施のため臨時休館とさせていただきます。
ご利用の皆様にはご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

落とし物・お忘れ物について

館内での落とし物・お忘れ物は、発見から3ヶ月間の保管とさせていただきます。
保管期間が過ぎた場合には処分させていただきますのでご了承ください。

利用者アンケート結果のお知らせ

R8年3月に実施しました「登録団体アンケート」へのご協力ありがとうございました。
館内およびセンターHPにて集計結果を公開いたしました。
右記QRコードからもご覧いただけます。

《アンケート結果》



2026 日光市 中高生 ボランティア体験

事前ミーティングを開催しました!

日光市と当センターが主催する「中高生ボランティア体験」は、若い世代に、NPOや市民活動団体でのボランティア体験を通して、地域への関心を深め、自らの気づきや学びにつなげてもらおうという取り組みです。今年度は、福祉や環境保護、国際交流、まちづくりなどさまざまな分野で活動する市内10団体に受入団体としてご協力いただき、夏休み期間中、31名の中高生がそれぞれの活動先でボランティア活動に参加します。

7/5(日)の「事前ミーティング」では、活動前のオリエンテーションとして、活動内容や当日の流れを確認しました。少し緊張した様子の中高生を受入団体の皆さんが温かく迎え入れてくださり、和やかな雰囲気の中で交流が行われました。
中高生の皆さんからは、これから始まる体験への期待の高まりを感じました。

この夏休みの体験が、中高生の皆さん一人ひとりにとって、充実したものになることを願っています!



みんなで楽しくお話しませんか♪ 夏のゆるカフェスケジュール

毎月さまざまなテーマで開催!
参加者同士が自由に話せる
コミュニケーションの場です
お気軽にご参加ください♪



- 8/31(月) 18:00～19:00
「村上春樹を語る」
- 9/10(木) 10:30～11:30
「今日からできる! 家庭の防災対策」
～日頃から家庭でできる備え～
- 10/15(金) 13:30～14:30
「支援センターの場所の秘密」
～起源は金次郎さんの報徳役所から～

▶開催場所: 日光市民活動支援センター
申込み・問合せは ☎22-2271 まで

にこっとフルカラー版は、
センターホームページ、または
センターLINEの友だち登録を
するとご覧いただけます→→→



センターNEWS! 作業室よりお知らせ



■ 夏の作業環境を快適に～扇風機を導入しました!

夏場の作業室は、冷房が届かず、窓も開かないため、室内が蒸し暑くなることがあります。近年の猛暑もあり、ご利用者様から「快適な環境で作業したい」とのご要望をいただいていたので、このたび扇風機を設置いたしました。
暑い日の作業が少しでも過ごしやすくなれば幸いです😊



■ 紙折り機が新しくなりました!

これまで紙折り機の不調により、ご利用者様にはご不便をおかけしておりました。
このたび、新しい紙折り機を設置いたしましたので、ぜひご活用ください!

会議室予約受付開始日時のお知らせ

- R8年11月分** 8月1日(土) 午前9時～
- R8年12月分** 9月1日(火) 午前9時～
- R9年1月分** 10月1日(木) 午前9時～

※予約開始日午前中は来館者のみ受付、
電話での予約は正午からとなります。



2026年
6月14日(日)
@報徳ホール

第2回 「にこにこスマイル譲渡会」を開催しました！

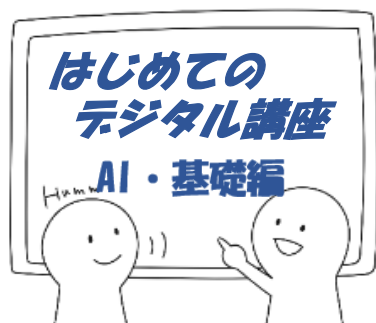
「まだ使える」をだれかの「ありがとう」へ…。

家庭で使わなくなった物を、次に必要とする方へつなぐ譲渡会を開催しました。センターからは、地域の皆さまよりご寄付いただいた紙パンツや日用品、文房具、子ども用品などを出品させていただきました。たくさんの方にご来場いただき、「地域のつながり」を感じる心温まるひとときとなりました。休憩スペースでは、お茶を楽しみながら、来場者同士の会話も弾んでいたようです♪

ご寄付やご参加、ご来場いただいた皆さま、ありがとうございました！

次回の開催は11月下旬を予定しています
ご参加、ご来場をお待ちしています😊

今回ご用意した休憩スペース



次回開催予定
10月8日(木)
10時～11時30分
「話すだけ！
音声入力を使ってみよう」

詳細・お申込みはQRコード
からご覧ください→



Chat GPTを使ってみよう！

6/17(水) 10:00～11:30
日光市民活動支援センターにて

前回ご好評いただいたデジタル講座に続き、今回は、Webアドバイザーの青山氏を講師に迎え「ChatGPT体験講座」を開催しました。

AIの基礎知識や安全な活用方法を学んだあと、参加者の皆さんが実際に自分のスマートフォンを使いながら、音声入力やChatGPTの使い方を体験しました。

講師の丁寧な説明に加え、センタースタッフも操作をサポート。

「分からないことをすぐに聞いて安心だった」

「自分にもできた。これからも使っていきたいと思う。」

などの声が寄せられ、初めての方でも安心してAIを体験していただけたようです。

参加者の皆さんから
「また開催してほしい」とのご要望を
多数いただき、10月にもデジタル講座
を開催することになりました！
ご参加お待ちしております☆



～ 対話やワークから、広がる気づき・発見・新たな自分に出会う時間～
5～7月の「ゆるカフェ」では、こんなことをやりました♪

5月

「電車の仕事」を聞いてみよう
駅員さんより、一日のお仕事の流れなど、貴重なお話を聞くことができました。

6月

日光市の「おすすめのお店」はどこ？
いつも利用している身近なお店やおすすめのお店の話から、スマートフォンでの決済などについても話が広がりました。

7月

「アンコンシャス・バイアス」って何？
アンコンシャス＝無意識の バイアス＝思い込み
自身でも気付かない思い込みに気づき、多様な価値観を尊重することの大切さについて考える機会となりました。

テーマ
求む！



Community
Cafe コミュニティカフェ

ゆるカフェ・知るカフェ・働くカフェ



ゆるカフェのテーマを
募集しています！
こんな話題でみんなと
話したい！
気になるワードや
聞いてみたいこと
ぜひ教えてください♪

こんなお悩みはありませんか？ Vol. 6
センターではこんなサポートをしています

- 「団体の魅力を発信したい」
- 「地域の人に団体の活動を知ってもらいたい」
- 「SNSやホームページで
何を発信すればいいかわからない」
- 「活動に興味を持ってもらえるような
チラシを作りたい」

団体の魅力がより伝わるチラシ作りを
サポートいたします。
また、本紙にこっと！内の『登録団体
さんの活動を紹介します』コーナーでは、
皆様の活動を広く発信することができます♪

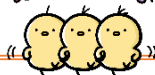


★ まずは、お気軽にご相談ください ★

やってみよう！

vol.6

コミュニティ
コミュニケーション
UP術！



「聞き上手な人がやっていること」

「会話上手な人＝話が上手な人」と
思われがちですが、会話上手な人は
「聞くこと」も大切にできる人なのです。



聞き上手な人が意識しているポイントは次の3つ

- ① 話を途中でさえぎらない
自分の意見を言いたくなくても、まずは最後まで聞くことが大切。
相手は「ちゃんと聞いてもらえた」と感じます。
- ② 相づちを上手に使う
「なるほど」「それでどうなったの？」などの反応があると、
相手は話しやすくなります。
- ③ アドバイスを急がない
人は必ずしも解決策を求めているわけではありません。まずは
共感してもらうことで安心感を得られることも多いのです。

相手に寄り添い、安心して話せる雰囲気をつくることが、コミュニ
ケーションUPの第一歩です。ぜひ試してみてくださいね♪

NPO法人・市民活動団体・ボランティア団体さんのための 助成金合同説明会のお知らせ



「助成団体に聞ける！はじめての助成金ガイド」

主催：とちぎボランティアNPOセンターぽ・ぽ・ら

日時：2026年10月8日（木）13：00～16：00（予定）

対象：非営利法人、市民活動団体
ボランティア団体等

参加費：無料

★当センター（サテライト会場）で
説明会をご視聴・ご参加いただけます！



特に助成金申請が
初めての団体さん
ぜひご参加ください！
（要申込み）

広報にっこう7月号にセンターの
特集ページが掲載されました！



センター施設内部・機能の紹介と、日頃より
センターをご利用いただいている団体さんに、
施設の魅力や活動についてご紹介いただきま
した！ぜひご覧ください😊

NPO法人・市民活動団体・ボランティア団体さんのための助成金・コンクール情報

- 8/20 締切 「Fusan基金」（子ども・医療）
- 8/23 締切 「スミセイコミュニティスポーツ推進助成」（地域・共生）
- 8/25 締切 「花博記念協会助成」（環境保全・共生）
- 8/31 締切 「こども食堂スタート応援助成」（子ども）
- 8/31 締切 「社会的養護下の子ども応援基金」（子ども）
- 8/31 締切 「TOTO水環境基金」（環境保全・地域）
- 8/31 締切 「持続可能な社会づくり活動表彰」（環境保全・地域）
- 9/3 締切 「子どもたちの“こころを育む活動”」（子ども・教育）
- 9/7 締切 「スミセイ未来を強くする子育てプロジェクト」（子育て）
- 9/17 締切 「ソーシャル・ジャスティス基金」（共生・社会課題）
- 9/25 締切 「障がい者支援団体への助成」（障がい者）
- 9/25 締切 「公園・夢プラン大賞」（まちづくり）
- 10/16 締切 「がん患者支援団体への助成」（医療）
- 10/30 締切 「環境市民活動助成」（多分野）
- 10/31 締切 「安全事業に関する助成」（まちづくり・地域安全）
- 10/31 締切 「こども支援事業」（子ども・貧困・青少年）
- 10/31 締切 「コメリ緑資金環境助成」（環境保全）

- 公益推進協会
- 住友生命健康財団
- 国際花と緑の博覧会記念協会
- 全国こども食堂支援センター・むすびえ
- 日本フィランソロピック財団
- TOTO株式会社
- 環境生活文化機構
- パナソニック教育財団
- 住友生命保険相互会社
- まちぽっと
- タチバナ財団
- 公園財団
- 正力厚生会
- セブンイレブン記念財団
- 日工組社会安全研究財団
- 飯村平和財団
- コメリ緑育成財団



センターのホームページから
詳しい内容をご覧くださいませ⇒



申請に関するサポートも行っていますので
気になる助成金がありましたらお気軽にご相談ください

登録団体さんの 活動を 紹介します



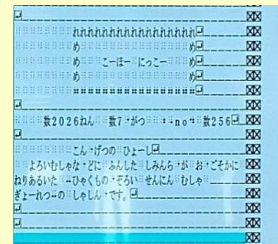
～ 点字は手と心で読む ～

点訳ボランティアグループ つくし

視覚に障がいのある方へ必要な情報を届ける活動を行っている「点訳ボランティアグループつくし」さんは、点訳講習会を受講したメンバーが集まり、昭和61年に発足しました。

現在は6名のメンバーが、活動を通して知識や技術を深めながら「広報にっこう」の点訳や市内小学校での点字授業などに取り組んでいます。

主な活動は、「広報にっこう」の発行に合わせた毎月の点訳です。必要な内容を抜粋し、パソコンの専用ソフトを使って、1回の活動で約20ページ分の点訳を行っています。「広報にっこう」のほか「市議会からこんにちは」や「スペシャルすまいる」も点訳しています。



点訳ソフトの画面

市内小学校での点字授業では、子どもたちが実際に点字器に触れ、点字を打つ体験をします。6つの点の組み合わせで表す「め」の点字を1分間でいくつ打てるか競争するなど、楽しみながら親しめる工夫もされています。

代表の手塚さんは「点字器を打っている音がいいんです。『ポツポツポツポツ』と響く音が心地いいんですよ。」と点字器の魅力について話していました。また活動を通して嬉しかったことを伺うと、以前点字プリンターで印刷したひらがなの点字について、「読みにくいところがあった」と利用者の方から教えていただいたことが印象に残っているそうです。その言葉から、一文字一文字を丁寧に読んでいただいていることを実感し、「自分たちの活動が利用者の方に届いている」と感じられたことが、とても嬉しかったそうです。

点訳では漢字を使わず、読んだ音のとおりひらがなで表記します。また、単語や文節ごとに区切って意味を伝える「分かち書き」は難しさがある一方で、点訳の奥深さや面白さでもあるそうです。さらに、読むときは左から右へ読みますが、打つときは紙を反転させて打つことや、点字タイプライターのキーの配置を指に当てはめて表現する「指点字」についても教えていただきました。

メンバーが顔を合わせ、おしゃべりを楽しみながら活動する場は、和やかで温かい雰囲気に包まれていて、「点訳はやっていておもしろいし、楽しい。これからも“手と心で読む”点訳をみんなで続けていきたい」と、皆さん笑顔で話していました。



活動の様子

この度は貴重なお話をお聞かせいただき、ありがとうございました😊

【お問い合わせ】 点訳ボランティアグループ つくし ☎ 0288-21-2591（手塚）



センター長のひとりごと

先月、あるNPOの代表が時間を割き、運転までしていただいて用件を済ませることが出来ました。その方は私財を投げ売って、障がいのある方を支援するNPOを立ち上げた方。梅雨の盛り、外は雨。でも宇都宮までの車中、会計担当者と3人で温かく深い話がいくつか上がりました。その中のひとつ。

代表が小学生の時、母ひとり子ひとり進行性の脳性マヒの同級生がいて、付きっきりで面倒を見ていたこと。トイレに行く時はおんぶして、でも自由にならない体だったので、トイレで失敗しておんぶした背中が濡れるようなこともあったそう。代表は中学生になると野球部に所属し、とても忙しくそれまでやっていたことを柔道部の友達がやってくれた。3年生で部長になったその年の9月9日、担任の先生から友だちの訃報を聞く。愕然とする。俺は何をしていたんだ、と。それからずっと命日に彼の家に行く。いつしか彼のお母さんから「〇〇くん、もう、十分だから、大丈夫。」と伝えられる。それでも、半世紀が過ぎても代表は、県北にある彼のお墓参りは欠かさない。9月9日に。

そのNPOの代表が、そういった体験を通して今があるのか、或いは、元々そういった素養があるのか、それは分かりません。「鶏が先か、卵が先か」でも、私には、人生の筋書きとして決められていた、ように思います。